

「令和4年度 第2回境港市みんなでまちづくり推進会議」会議録

【日 時】令和4年5月10日（火）18:30 ～ 19:55

【場 所】境港市保健相談センター 講堂

【出席者】松本幸永（会長）、畑本愛（副会長）、三原真由美、渡辺博美、松田真二、吹野真彩、吉田明広、足立勲、舛岡彩子（9名・敬称略）

【欠席者】井上竜輔、藤中誠也、遠藤緑（3名・敬称略）

【傍聴者】なし

【事務局】木村晋一（総務部長）

小川博史（地域振興課長）

立花順平（地域振興課長補佐兼企画係長）

竹本夏樹（地域振興課企画係主任）

- 【日 程】
1. 開 会
  2. 境港市市民活動推進補助金審査
  3. 今期の取組テーマについての協議
  4. 閉 会

1. 開会

（会長）

皆さん、こんばんは。

これより令和4年第2回目のみんなでまちづくり推進会議を開催いたします。

本日は、遠藤緑委員、井上竜輔委員が欠席、藤中誠也委員から遅刻されると連絡が入っています。（藤中委員はそのまま欠席）

それでは、はじめに事務局からご報告があるとのことですので、お願いします。

（事務局）

皆さま、こんばんは。地域振興課の立花です。

4月1日の人事異動により、部長、課長、担当者がそれぞれ変わりましたので、ご挨拶させていただきます。

まず、はじめに総務部長よりご挨拶いたします。

（木村総務部長、小川地域振興課長、竹本企画係主任）挨拶

（事務局）

それでは、第1回の会議を欠席された委員の方につきましては自己紹介をお願いします。なお、委嘱状の交付につきまして、委員の皆様にご直接お渡しすべきところですが、

あらかじめ席上に配布させていただき、交付に代えさせていただきたいと思います。ご了承いただきますようお願い申し上げます。

それでは、畑本副会長、渡辺委員、吹野委員の順で一言ずつご挨拶をいただきたいと思います。自己紹介をお願いします。

(畑本副会長、渡辺委員、吹野委員) 自己紹介・挨拶

(会長)

それでは、まず市民活動推進補助金の審査を行い、その後、今期の取組テーマについての協議を行いたいと思います。

では、市民活動推進補助金の審査に移りたいと思います。事務局より説明をお願いします。

## 2. 境港市市民活動推進補助金審査

(事務局)

今回の募集ですが、一般事業に2団体、緑化事業に6団体の申請がありました。審査員の皆様には、事前に書類審査をしていただいております。期間が短い中、ご協力いただき、ありがとうございました。

事前審査による申請団体の評価点は、お手元の資料1から6のとおりとなりましたので、ご確認ください。審査表の審査基準を基に、申請書のみでの審査をしていただきましたので、意見交換後に得点修正があれば修正していただきます。得点の修正については全団体について意見交換の後にまとめて事務局でとりまとめます。

事前にご記入いただいた審査表の得点を参考にしながら採択・不採択の決定を行っていただきます。各事業とも30点満点で、6割の18点が採択の基準点となっております。

以上で説明は終わりますが、何かご質問等ございますでしょうか。

無いようでしたら、審査内容について協議したいと思います。

(会長)

まず、「平和のための戦争展境港市実行委員会」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

◇1 団体目 平和のための戦争展境港市実行委員会

・申請事業 第8回平和のための戦争展

- ・実施時期：10月29日（土）～10月30日（日）
- ・実施場所：しおさい会館
- ・対象者：市民等300名
- ・事業内容 戦争遺品の展示や講演会、戦争体験の語り部による体験談等を通じて、戦争の悲惨さや平和の尊さを後世に伝える。

（会長）

それでは、「平和のための戦争展境港市実行委員会」について、ご意見がある方はおられますか？

～審議～（審議内容は非公開）

（会長）

続いて、「境港サーフレスキューチーム」について、事務局より説明をお願いします。

（事務局説明）

◇2団体目 境港サーフレスキューチーム

- ・申請事業 市内の水辺における安全活動
- ・実施時期：小学校夏休み開始からお盆時期までの週末 約10日
- ・実施場所：美保湾展望ビーチ、市内各小学校プール 等
- ・対象者：遊泳者、市内小学生及び保護者 約100名
- ・事業内容 監視・救助活動及び海岸の清掃活動や、「浮いて待て」教室の実施により、安全意識を高め、地元の海に親しむ意識を育む。

（会長）

それでは、「境港サーフレスキューチーム」について、ご意見がある方はおられますか？

～審議～（審議内容は非公開）

（会長）

続いて、緑化事業です。こちらはすべて継続案件ということで、得点は付けておりません。何か申請書をご覧になられて、感じたことなどがあれば発言していただけたらと思います。

◇緑化事業

| 団体名                         | 事業名             |
|-----------------------------|-----------------|
| 鳥取県立境港総合技術高等学校<br>ボランティア同好会 | 花いっぱいふれあい事業     |
| 竹内マツ植樹隊                     | 竹内西緑地への桜苗植栽及び管理 |
| 境港市立外江小学校 PTA               | しらおの森は花いっぱい     |
| 上道小学校 PTA                   | 花いっぱいふれあい運動     |
| 境港市立余子小学校保護者と先生の会           | 花いっぱい運動         |
| 中浜小学校保護者と先生の会               | 花いっぱい！中浜小学校     |

～審議～（審議内容は非公開）

（会長）

それでは、申請団体に対して採択の通知をお願いします。

以上で、市民活動推進補助金の審査を終了します。

<審査会終了>

### 3. 今期の取組テーマについて

(会長)

それでは、再開します。これより今期の取組テーマについて協議します。

事務局から資料の説明をお願いします。

(事務局)

◆事務局より、各資料を用いて説明

【資料7】第8期の取組テーマ決定のためのアンケート まとめ

【資料8】第7期事業報告書（抜粋）

アンケート結果では、委員の皆様は第7期で取り組んだテーマを深掘りすることを希望された方が多く、特に、「①市民の交流推進、地域コミュニティの強化」「③車がなくても生活できる暮らしの支援」「⑤選ばれるための魅力ある教育環境の整備」に関心がある方が多いという結果でした。

アンケートのまとめと今回の協議を踏まえて、アドバイザーの島根大学法文学部、毎熊教授に相談し、次回の会議で決定します。

事務局からは以上です。

(会長)

事務局からの説明について、何かご意見などありますか。

～意見交換～

(委員)

このアンケート結果に入っていることかわかりませんが、せっかく総務部長さんがおられるのでお伺いしたいことがあります。

公民館活動は今後どうあるべきか、ということです。一週間か二週間前の日本海新聞に、公民館がまちづくり拠点にということで、米子市の公民館の所管が市長部局に移るという内容が掲載されていました。

私は行政が行っている市長と語る会とか、地域振興課や建設部主催のワークショップなどに参加して意見を必ず言っています。ところが、意見を出してもなかなか答えが返ってきません。私は、これまで10年ほど自治会活動と公民館活動を行っています。まちづくりというのは、人と人が触れ合って、会合にも出席して、活発な意見を出して解決していくということだと思うんです。私の記憶では、市長と語る会で意見を出したことが1年後に文書で回答があって、市民と議会の会では回答がありません。余子公民館での市長と語る会では50人ほど参加者がありますが、半分は市職員ではないかと思

ます。それで意見を出しても回答が返ってこない、もういいかと思ってしまう。

自治会も参加して主体となって人がたくさん集まって意見を出し合って解決する、そのトップとなるのが公民館だと思うんです。公民館長ともそういう話をしていますが、現状を物足りなく感じています。

子どものことに関しては、9年間ほど子ども見守り隊を行っています。最初にかかわった子どもたちは、もう高校生になります。見守り活動を例にとりますと、地域とPTAと学校と連携してボランティア活動を行っていますが、だんだん子どもの登下校での安全の意識が薄れてきているように感じます。地域とPTAと学校をとりまとめるのが公民館の役割ではないかというような気がするのですが、どんなもんでしょうか。

(総務部長)

ご指名ですのでお答えします。

公民館は社会教育活動の拠点ということで、教育委員会の生涯学習課が所管しています。その中で市内の様々な社会教育団体とか、地域にお住まいの方が利用する地域の拠点となっております。先ほどおっしゃられたように、市長部局に市民交流の拠点、いわゆるコミュニティセンターとしての役割を持つために教育委員会から移管して自治会活動や社会福祉活動と融合させて一括して運営する、そういった流れがあることは事実でございます。現時点では、境港市はその動きはまだございませんけれども、各中学校区でコミュニティスクールを導入して、地域の方々や学校、PTA等の関係する方々と一緒になって子どもたちの育成を図る動きが出てきているところです。そういった活動の中で、皆さんが関わりながら地域をどう考えていくかという流れだと思えます。個々に活動しても限界があると思えますので、皆さんのお考えや知恵を拝借しながら、地域全体が楽しく、安心・安全に暮らせるような地域になるということが理想ではないかと思えます。

(委員)

私としては、何をやっても特定の人しか集まらない、ということがもうひとつだなと思うところです。

公民館ではサークル活動が主で、本来の公民館活動はどうあるべきかいつも疑問に思っているところです。以上です。

(委員)

私は第7期に携わっていたので、第7期テーマの深掘りに一票入れたんですけど、せっかく提案したので、何か一つでも具体的な取り組みを深掘りすれば、実現性が高まるかなと思います。

コロナ禍になって3年が経ちますが、地域の人と何かしたことがないなと感じています。顔と名前も忘れかけているなど。そういうこともあって、地域コミュニティの提

案もしたんですけど、今までの価値観を変えていく必要があると思います。

(委員)

公民館活動は自粛していませんよ。講演会もしていますし。

(会長)

鳥取県でも対策しながらであれば制限はしていないはずですよ。渡公民館でも定員を決めてそれまでの人数であれば活動を続けています。

(副会長)

アンケートの意見について補足をする時間だと思うのですが、こういう話題だと取り留めなく続いてしまいますね。

(会長)

それでは、意見も出尽くしたということで以上としたいと思います。事務局から、何かありますか。

(事務局)

令和4年度事業として、「まちづくり将来世代育成事業」と「移住定住促進事業」の移住者交流があります。まちづくり将来世代育成事業は、次世代を担う中高生を対象としたワークショップ等を開催して、まちづくりについて学ぶ場を提供することで次世代リーダーの育成を図るというものです。

移住者交流会は移住者同士が、気軽に話し合い、移住後の不安や悩みを共有しながら仲間づくりのできる機会として開催するものです。

この2つの事業について、委員の皆様にもワークショップや交流会への参加等、ご協力いただくこともあろうかと思っておりますので、その際はよろしく申し上げます。

(会長)

では、以上をもちまして、第2回みんなでまちづくり推進会議を終了します。委員の皆様、長時間ありがとうございました。

<閉会>